平成２３年度石狩市学校支援地域本部

事 業 報 告 書

平成２４年３月

石狩市学校支援地域本部運営委員会

石狩市学校支援地域本部事業　　平成２３年度　事業報告書

◇　目　　次　◇

◇巻頭言～運営委員長挨拶～◇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

運営委員長　徳田　昌生

◇花川北地区（花川北中、紅南小、双葉小）◇

活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

各学校の支援ボランティアの実践内容

花川北中学校　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

紅南小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

双葉小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

関係者からのコメント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

◇花川南小◇

活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

活動風景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

関係者からのコメント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

◇会議等の開催及び研修会等への参加状況◇・・・・・・・・・・・・２２

◇成果と課題◇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

◇学校関係者から◇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４

花川南小学校校長　似内　博之

双葉小学校教頭　北野　敬和

◇地域コーディネーター顛末記◇・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

地域コーディネーター　沖田　　勇

◇運営委員会名簿◇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

巻頭言　～運営委員長挨拶～

新たな一歩が始まりました

石狩市学校支援地域本部運営委員長　徳田　昌生

平成 20 年 10 月から文部科学省の委託事業として始まった石狩市学校支援地域本部事業は昨年の 3 月で終了し、平成 23 年度からは新しい形でスタートいたしました。

昨年度までの 3 年間は花川北中学校区を対象として行われてきましたが、事業に携わった実行委員会、地域本部・おらが学校応援団ならびに学校等からこのすばらしい取組みを是非全市に広げて欲しいとの声が数多く出てまいりました。一方、石狩市社会教育委員の会議では、子どもの居場所づくりや確かな学力の育みを目的とした検討の中で、平成 22 年 11 月に「あい風寺子屋制度」に関する提言がなされました。これらを受けて教育委員会では今年度から、花川北中学校区で行う継続的な事業と花川南小学校区を対象とする新規事業を平行して行うことになりました。

新たな取組みである「あい風寺子屋教室」は昨年の 7 月から 11 月まで花川南小学校において通算 20 回の活動が行われました。いろはジャンボかるたやペープサート（人形紙芝居）、バルーンアート、伝承遊び、茶道、紙風船工作、百ます計算など、非常に多彩で意義の深い活動が行われました。参加する児童は回を追うごとに増え、茶道の活動にはなんと 100 人もの児童が参加して行われました。現場を何回か見学する機会がありましたが、子ども達が本当に生き生きと楽しそうに活動している様子や、決められたルールを守り積極的に発言している姿などが大変印象的でありました。先生や他人の言葉をよく聞き自分の考えを述べることは、コミュニケーション能力の育成に極めて重要であります。子ども達が長じて社会で活躍する時にはこの能力は欠かせないものとなりますので、「あい風寺子屋教室」はキャリア教育の第一歩にもなっているように思われます。指導に当たられた地域コーディネーターやボランティアの皆さん、および教育委員会のご努力に対し感謝を申し上げたいと思います。

一方、花川北中学校区の事業は、従来どおり花川北中学校、双葉小学校および紅南小学校において行われ、グラウンドの除草作業や安全下校指導、家庭科ミシン授業の補助、水泳・スキー学習の安全見守りと補助、算数科九九の検定支援、図書の整理作業などの継続的活動が行われました。新しい活動として、生活科の漬物体験や包丁研ぎ作業、放送機器の故障点検作業なども行われました。いずれの活動も町内会や高齢者クラブ、個人ボランティアの皆さんの絶大なるご協力がなければ行うことができないものであり、紙面を借りてこれらの皆さんに心からお礼を申し上げます。

学校支援地域本部事業の目的は「学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整える」ことでありますが、今年度の「あい風寺子屋事業」が加わることによって、益々充実して行くものと信じております。今後も皆さんの変わらぬご支援をお願いする次第です。

◇花川北地区のボランティア実施状況◇

花川北中学校	紅南小学校	双葉小学校
①PTA 花壇の移植・剪定作業 実人数　1名 10回　延べ10名 ②グラウンドの除草作業 28名	①「学校用花壇」の手入れ 実人数　1名 12回　延べ12名 ②「図書室本」の整頓作業 6名 6回　延べ19名 ③「包丁研ぎ」　1名 ④放送機器の点検　1名 ⑤1・2年生「体育科」 （スキー学習）」の補助 16名 9回　延べ39名 ⑥「光の子集会」発表参観 4名 ⑦「卒業証書」の代筆　1名 2回　延べ2名	①1年生の下校安全指導 実人数　32名 6回　延べ105名 ②6年生「家庭科（ミシンで縫い物）」授業補助　4名 4回　延べ10名 ③大空学級「特別授業」補助 1名 4回　延べ4名 ④「水泳学習」補助　3名 13回　延べ15名 ⑤2年生「生活科（つけもの）指導」　3名 5回　延べ15名 ⑥2年生「算数（九九の検定）」 11名 2回　延べ21名 ⑦低学年・大空学級「体育科（スキー学習）」の補助 13名 11回　延べ40名 ⑧「卒業証書」の代筆　1名 2回　延べ2名
2事業　11回　29名 延べ　38名	7事業　32回　30名 延べ　78名	8事業　47回　68名 延べ212名

合計　17事業　（実人数）127名　延べ　328名

◇学校支援ボランティアの実践（花川北地区）◇

【花川北中学校】

活動その１	グラウンドの除草作業（継続）		
実施時期	５月７日(土)	活動参加者	２８名

概　要

体育祭に向けて、毎年実施している「グラウンドの草取り作業」に校区内近隣の 4 町内会･1 高齢者クラブの方々総勢 28 名が参加してくださいました。

生徒･教職員・ＰＴＡも含め約 230 名が 1 時間ほど汗を流しました。学校側で配布された軍手をはき、めいめいが持参した用具で、除草･地ならし･雑草の堆肥場運びなど、分担した流れ作業で進行していきました。終了時には学校長からの労いの言葉がありました。

その後、「応接室」で反省と情報交流の話し合いもありました。昨年にも増して、多くの生徒さんと地域の方々が加わり、頼もしい学校の力が発揮される、格好の機会となっている感じがしました。

活動その２	ＰＴＡ花壇の栽培作業（継続）		
実施時期	５月末～９月　（１０回）	活動参加者	１名（延べ１０名）

概　要

ガーデニングマイスター（庭職人）の資格を持つボランティアの方に、前年度まで継続して移植作業を手掛けてくださった《PTA 花壇》の管理を、学校側との話し合いにより、今年度も実施していただきました。

2 週間に 1 回程度、花の栽培や除草のために学校へ出向いてくださり、石狩市の「花いっぱいコンクール」《最優秀賞》に輝く生徒管理の花壇と肩を並べて、綺麗な環境への配慮をされました。

学校支援地域本部の一つの実践が学校・地域に定着した取り組みの好例として、有難いことだと感謝しています。

◇学校支援ボランティアの実践（花川北地区）◇

【紅南小学校】

活動その１	「学校用花壇」の手入れ（継続）		
実施時期	５月～１０月　（計１２回）	活動参加者	１名（延べ１２名）

概　要

ガーデニングマイスター（庭職人）の資格を持つボランティアの方が、前年度、学校用花壇２か所で花苗の移植～栽培作業を引き受けてくださいましたが、学校側との話し合いにより、今年度も自主的に作業を担当していただきました。

2 週間に 1～2 回程度、花の栽培や除草に出向いてくださり、そのついでに、児童玄関前の花鉢の配置などもされ、綺麗な環境づくりにご尽力されました。

職員の手がなかなか回り兼ねているところを、自主的にボランティアをされる姿に、頭の下がる思いで花壇を見ていました。学校の「花いっぱいコンクール」では、《優秀賞》を毎年受けている伝統校でもあります。

活動その２	図書の整頓作業（継続）		
実施時期	１０月２７日(木)～３月２９日 （毎月最終木曜日　６回実施）	活動参加者	６名（延べ１９名）

概　要

毎年継続している図書室の図書整頓作業ですが、今年度は年度途中の 10 月からの希望であったことから、ボランティア個人登録の方で支援体制を組みました。

昨年度も携わっていただいた図書館司書の経験者の方を核として、校区町内会の方々計 6 名が今年度のスタッフとして、図書室の本の整頓作業を実施してくださいました。

月 1 回、木曜日の午前 10 時から作業を開始して、1 時間程度で終了します。1 回目は初めての方もいて、整頓作業の要領を知っていただくことが主でしたが、ボランティア活動の意義や楽しさが実感できたと話してくれました。中休みに図書室を利用する児童たちとも声を交わしたり、図書室担当の先生とも情報交換をしたりしながら、作業を続けてきました。

◇学校支援ボランティアの実践（花川北地区）◇

活動その３	包丁研ぎ作業（新規）		
実施時期	１２月２７日(火)	活動参加者	１名

概　要

家庭科室の備品の包丁研ぎをしていただきました。

牛刀 10 本・文化包丁 20 本・出刃 10 本・果物包丁 5 本を依頼し、3 時間半の長時間、3 種類の砥石を駆使して研ぎあげてくださいました。さびも落とされ、切れ味も増した包丁は、調理実習の際に効果が確かめられたものと思います。

活動その４	放送機器の故障点検（新規）		
実施時期	１月１６日（月）	活動参加者	１名

概　要

秋の「学芸発表会」時に、体育館の放送機器にトラブルがあり、故障の原因個所の特定ができずに今日に至っていることから、電気機器に精通したボランティア探しの依頼があり、元校務補経験者に相談したところ協力を得ることができました。

活動その５	１・２年生「体育科（スキー学習）」支援（継続）		
実施時期	１月１９日（木）～２月１０日（金）９回	活動参加者	１６名（延べ３９名）

概　要

花川中央・ライラック町内会と白樺翠会から推薦された方、あさひ・北白樺・紅南町内在住の個人ボランテイア 16 名の方々が、事前打ち合わせ会で確認した「当番表」でスタートしようとした途端、2 年生がインフルエンザによる「学年閉鎖」措置により回数減となりました。

旧紅葉山小学校の閉校により、1 学年 3 クラスとなった今年度は 70 名前後の児童数となり、ボランティア数を増やす態勢で臨みましたが、好天に恵まれ、スムーズに着脱の支援補助ができました。

◇学校支援ボランティアの実践（花川北地区）◇

活動その６	「光の子集会」発表会の参観（新規）		
実施時期	２月６日（月）	活動参加者	４名

概　要

登下校の「声かけ運動」で日常お世話になっているボランティアさんに対し、児童会で感謝をする「集会」が企画されています。今回、「スキー学習」の補助のお手伝いをしてくださっている方々にも、集会後、「光の子学級」の発表会に、お礼の意味もこめて参観していただきたい旨の連絡があり、急遽、文書連絡で案内したところ 4 名の方が来校され、児童は器楽やダンスなどの発表を披露しました。

地域の方々が校舎内へ入る機会も少なくなっている昨今、こうして児童達の活動を気軽に参観できることは、児童にとっても良い刺激となっている模様です。

活動その７	「卒業証書」の代筆（継続）		
実施時期	３月７日（水）、１２日（月）	活動参加者	１名（延べ２名）

概　要

平成 23 年度「第 27 回卒業式」の卒業証書の氏名・生年月日・証書番号代筆を、毛筆書道の師範であるボランティアの方に今年度もお願いしました。3 クラス+光の子学級（70 名）分で、事前に「卒業証書台帳」で確認し、ご自宅に持ち帰って、数日後引き渡すという流れでした。

写経用の筆で、ミスの許されない緊張の中で、2 日間かけての作業ということでした。引き渡しの際には氏名の字体を再確認し、数枚は再度書いていただきました。

◇学校支援ボランティアの実践（花川北地区）◇

【双葉小学校】

活動その１	１年生「安全下校指導」見守り（継続）		
実施時期	４月１９日(火)～６月１４日（火）６日間	活動参加者	２６名（延べ１０５名）

概　要

1 年生は入学当初、交通安全運動とも連動して、下校指導が学校ぐるみで実施されています。

今回は、1 年生が単独での下校になることから、通学路の途中、信号機のある交差点で安全に横断ができるように、地域の方の支援をお願いされました。

双葉小校区の地図上から、9 箇所の指導ポイントが確認され、該当の町内会長さんと連携、途中からは「花川北交通安全母の会」さんの支援協力も得て、十分な人員確保ができました。

各回 16～19 名が 9 ポイントで、午後 2 時 25 分（学校前下校開始）に合わせて位置についていただきました。「声掛け員」の名札・安全旗・帽子･黄色のブレザーなどを着用して指導されました。

活動その２	６年生：家庭科「ミシンの授業」補助（継続）		
実施時期	５月２４日（火）～６月２１日（火）４回	活動参加者	４名（延べ１０名）

概　要

6 年生の行事「修学旅行」時に使用するために、児童の手作りによるナップサック制作の授業があり、ミシン使用時に補助の手が必要ということで依頼がきました。

5 年生時の昨年、ミシンの学習で地域の方の支援を受けた経緯もあって、そのルートを通して支援者を確保できました。緑苑町内会に在住の 4 名の方のご都合にあわせて、初回の全員以後は、各日 2 名ずつ授業に入っていただきました。

授業前にミシンの調整をしたこともあって作業はスムーズに進行でき、修学旅行時では自作のナップサックで目的が果たせた模様です。

◇学校支援ボランティアの実践（花川北地区）◇

活動その３	大空学級「授業時の補助」（運動会特別時間割）（継続）		
実施時期	５月２４日（火）～６月４日（土）４日間	活動参加者	１名（延べ４名）

概　要

特別支援学級「大空学級」では、昨年度も取り組みのあった「運動会特別時間割」実施日に合わせて、グラウンドで活動時の児童の補助（2 日）と、指導教師が不在時での授業時補助（2 日）の支援を行いました。

運動会当日の 6 月 4 日は、児童席での見守りや担当児童の出場種目での出入りの見届けなどの支援内容でした。元教員の経験者であったことで、専門性の活用がうまく機能した実践例でした。

活動その４	全学年:体育科「水泳学習」安全見守り（継続）		
実施時期	６月２３日（木）～９月９日（金） １３日間	活動参加者	３名（延べ１５名）

概　要

水泳学習は全校児童が対象で、低学年･中学年･高学年･大空学級の 4 ユニットで編成され実施されています。1 コマ 2 時間単位で、午前 10 時～12 時、午後 1 時～3 時までの時間帯。双葉小プールで管理員が 2 名常駐しており、実施日当日の水温･室温を確認し、ボランテイアさんと連絡を取り合ってきました。　昨年度の協力者 2 名のほか、今年度新たに 1 名が加わり、3 人で分担してきました。

今シーズンは好天に恵まれてほぼ全日程が実施でき、事故も皆無だったことは幸いでした。

活動その５	２年生：生活科「やさいを育てよう」（漬物の体験）（新規）		
実施時期	８月２５日(木)～１１月２５日(金)５日間	活動参加者	３名（延べ１５名）

概　要

学年教材園で栽培した野菜を、「漬物」に変身させる取り組みの経過を授業として成立させるために、地域の「漬物名人」を紹介してほしいという話を受け、緑苑町内会から 3 名の方に支援していただきました。

8 月、夏休み明けから「糠床」によるなす・きゅうりの漬物作り、9 月には秋大根の「たくあん漬け」による試食を兼ねた公開授業として発表。経過観察も含めて長期間の支援をいただきました。

締めくくりは 12 月の冬季休業の前日、各クラスの児童から「グループ発表会」の案内があり、3 人の名人から受けた学びの成果を、感謝の言葉を入れて発表していました。

◇学校支援ボランティアの実践（花川北地区）◇

活動その６	２年生「算数科（九九の検定）」支援（継続）		
実施時期	１２月１９日（月）・２０日（火）	活動参加者	１１名（延べ２１名）

概　要

児童一人ひとりの習熟度を高めるために、2 年生算数科で「九九の検定」を実施しています。

中休み 20 分間と 3 校時の時間帯を利用し、かけ算「九九」を段ごと復唱するのを聞き取り、正解･不正解を判定するというものです。各段 10 秒以内の「上り」「下り」と 80 秒以内「総合」の 3 パターンで、合格したときには、児童が持参するカードにシールを貼るということです。

「おらが学校応援団・控え室」にずらりと並んだ学校支援ボランティアの検定員さんと対面した児童は、初めは緊張気味でしたが、次第に慣れてきて張り切って挑戦していました。多くの児童が合格のシールをもらって喜んでいました。

活動その７	１・２年生・大空学級「体育科（スキー学習）」支援（継続）		
実施時期	１月２３日（月）～２月１０日（金）１１回	活動参加者	１３名（延べ４０名）

概　要

緑苑・北陽・北 6 条・若葉の 4 町内会から 13 名の学校支援ボランティアの方々が、事前打ち合わせ会で確認した「当番表」通りに進行しました。インフルエンザが流行していましたが、学校では閉鎖措置や吹雪等の中止もなく、予定通りに活動を実施できました。

児童たちはどんどん成長し、回数を重ねる度に手伝う時間も少なくなっていきました。ある程度、力の必要なスキー袋の着脱が大半で難儀していましたが、後半は、ある程度スムーズに取り外しができるようになっていました。

◇学校支援ボランティアの実践（花川北地区）◇

活動その８	「卒業証書」の代筆（継続）		
実施時期	２月２８日（火）　３月５日（月）	活動参加者	１名（延べ２名）

概　要

平成 23 年度「第 2 回卒業式」の卒業証書の氏名・生年月日・証書番号代筆を、毛筆書道の師範である渡辺芳雄さんに今年度も依頼しました。2 クラス（43 名）分で、事前に卒業証書台帳で確認し、ご自宅に持ち帰って、数日後引き渡すという流れでした。

写経用の筆で、ミスの許されない緊張の中で 2 日間かけての作業ということでした。

◇関係者からのコメント◇

関係者からのコメント

■花川北中学校にてボランティアをされた方からのコメント

「グラウンドの草取り」に参加して

紅葉山町内会長　　成　田　芳　勝

当日（５月７日）は、時折小雨の降る肌寒い天候となり、心配しましたが、集合場所には生徒・先生・ＰＴＡ会員・地域住民と大勢の方が参加されているのに驚きました。

作業の説明後、一斉にそれぞれの持場に分散して草取りする。暫くお会いをしていなかった人から、「元気ですか！」と声をかけられて話が弾む。出身地の話になり、一瞬、中学生頃の豆畑の長い緩斜面を往復しての雑草取り作業を思い出す。

北中生徒の草取り、リヤカーへの積込み、搬出と、手際のよい「協働」には感心しました。

一時間ほどの作業でしたが、参加して良かったとの思いを強くしました。

地域コーディネーターの沖田さん、有難うございました。

「笑　顔」

花川北白樺町内会長　　筒　井　昭　雄

町内会長を拝命して間もなく、「花川北中学校グラウンド除草作業」ボランティアに、小生及び当町内会役員等５人（妻は「息子がお世話になったから」と）が参加しました。当日は、肌寒い天候の中、在校生及び父母等約２００人程参集し、一斉に作業を開始しました。農家育ちの小生としては、遊びたい盛りの中学生当時、父母の手伝いをさせられたことを思い出しながら、「今の生徒は鍬等をもつこともないだろうに」と勝手に想像していたところ、最初は多少の戸惑いもあったようだが、父兄の作業を見習い熱心に除草に汗を流す姿を見て頼もしく感じた。約一時間程で作業も終了し、綺麗になったグラウンドの上で笑顔がはじける生徒達がひときわ輝いて見え、これが「真の教育」と納得した次第です。

◇関係者からのコメント◇

■紅南小学校にてボランティアをされた方からのコメント

「生き甲斐として」

花川北地区「白樺翠会」会長　　渋　谷　俊　雄

一年程前の事だったろうか。学校支援地域本部から、小学校の運動会に使用する玉入れの「玉」が不足しているので、当会に協力してほしい旨の要請があり、その話を受け入れました。

独居生活をしている当会の会員のうち八十歳を超える御婦人を中心に十人程で百玉程作りましたが、その時の御婦人達の眼の輝きが今も忘れられません。地域との絆に悦びを感じておられるのだなァと痛感した次第です。

これからこの様な要請があった時には、「高齢者だから」と言った気遣いも必要かもしれませんが、地域の助けになっていると言う生き甲斐も大事なことと想いつつ、協力して参りたいと思っております。

「スキー学習のお手伝い」

花川中央町内会　副会長　　青　山　祐　幸

これで２シーズン目になります。紅南小学校の１年生のスキー学習のお手伝いです。

ほとんどの子供たちは親とスキー場へ行っているんだろうと思えるほど、手際もいい。上手にはけない子は数えるほどしかいません。旧軍隊の幅広スキーを使っていたわが幼少時代を思うと、道具・ウエアとも隔世の感があります。

気になったこともあります。スキーを入れてきた袋（モダンな名前があるのかな？）の始末ができないこと。子供たちが投げ出して行った袋を、名前の部分が表に出るように、我々が揃えて並べてあげる。道具と技術が良くなる前に、大事なしつけだと思いますが・・・。もう一つ、上手にはけない子を同級生が手伝わないこと。これも大事なことだと思いながらお手伝いをしてきました。先生方、年寄りの繰り言と思って聞いてください。

「心のつぶやき」

北白樺町内会　　渡　辺　芳　雄

過日、学校だよりの新聞紙上で、食事での箸の使い方を指導されている様子がありました。箸に限らず、エンピツや筆に至るまで、「持つ」より「握り」の姿は、テレビ画面でのタレントや料理番組での大人の方にまで見られます。箸の使い方は自然に身につくものと思っていたが、年寄りの認識不足とつくづく感じている。

身近なことでも、ボタン一つ押す操作で思い通りになる昨今、想像だが、近い将来、何も使わずに食事が口の中に入る時が到来するのだろうか？

運動面においても、入学以前に基本的動作が身についていない子供たちが見られ、「孫には口を出すな」の風潮の現代、学校支援のボランティアをしながら、つくづく何かと考えさせられた今日この頃です。

◇関係者からのコメント◇

■双葉小学校にてボランティアをされた方からのコメント

●６年生家庭科「ミシン学習」支援　　「一言感想」メモ　より

・第１回と第４回のお手伝いをしました。子ども達の上達ぶりに感心しました。

（干場　政子さん）

・全回お手伝いできませんが、楽しくお手伝いしていきたいと思います。

（岩船　美雅子さん）

・子ども達は、大変素直に聞いていただき、一生懸命頑張っていました。しかし、寸法の違いと、しつけをちゃんとしている状態の子との差がありました。　（丸山　満枝さん）

・昨年よりも子供達は大人になり理解が深まったようです。ミシンにも慣れたようです。このまま明るく元気で大きくなってほしいと思いました。ミシンの糸不足、整備が必要です。

（岡本　恵子さん）

「ボランティアに参加して」

緑苑町内会　元気会　　長　尾　和　子

私達三名は、二年生の研究授業の一つとして漬け物の手伝いを数回させて戴きました。先生にとってどの程度役に立ったのか解りませんが、終了後生徒さん達と近くの店や道路で会う度、「漬物名人の○○さん」と声をかけられ、私共に沢山の孫や曾孫が出来たようなうれしさでいっぱいになりました。

今迄は、生徒さん達と出会っても、見知らぬ者同士でありましたが、最近は身近に感じられ、私共の地域の学校として暖かい目で見られる様に成りました。又、学校からの声がありました時は、参加協力したいと思っております。

「新一年生の下校時の声かけ」

北陽町内会長　　中　島　輝　雄

昨年の入学から早や一年、当初は、「このおじさん　だれ」と伏し目がちで戸惑った様子でした。

日がたつにつれ、目が輝き、「こんにちは」「さようなら」と大きな声で応答してくれる様になりました。何よりうれしく思うのは、「ありがとう」の言葉です。

あれから早や一年、背丈ものび、元気で友達と家路に向かう後姿を見て、心の中で頑張れとエールを送っている毎日です。

◇関係者からのコメント◇

「学校支援ボランティアの感想」

個人登録支援者　　石　田　靖　夫

主に双葉小の支援ボランティアとして活動しました。夏の水泳学習や冬のスキー学習時に、特別支援学級（大空学級）や低学年の支援を行いました。私は、前々年度から継続して支援員を行い、学校を訪れているので、先生や子供たちとは顔なじみになり、コミュニケーションがより図れました。

どの子も水泳やスキーを元気に楽しそうに行い、準備や後かたづけも回数を重ねて上達しました。特に、大空学級の３名の男子は、スキーが前年度よりとても上手になり感心しました。

他では、二年生「算数科（九九の検定）支援」が、子供たち個々と交流できて大変嬉しく思いました。私自身も子供たちの笑顔やお礼の言葉で元気をもらいました。これからも、できる範囲で学校支援に参加します。

「学校支援ボランティア」実践者の感想（要望）

緑苑町内会　　秋　田　隆　二

１．昨年は「１年生：安全下校指導」実施日初日、案内どおり定刻前に双葉小学校の所定の場所に待機していたが、連絡を受け学校玄関前に行ったところ、説明は殆ど終わっており、十分理解しないままに所定の場所についた。連絡調整に不都合のないように御配慮願います。

２．学校支援ボランティアの事業内容は、双葉小学校の声かけ運動と同じようなものと思われますので、両事業の下校時刻が接近している日は学校と時間調整して、声かけ運動員をフル活用するなど、事業効果がより向上するよう御検討願います。

「九九の名人として？」

緑苑町内会　　河　内　　洋

１２月１９～２０日の２日間、２年生の「九九の検定」と称する小学校支援活動に参加させてもらいました。不安そうな子、自信満々の子、いろいろでしたが、みんな真剣でした。そして、出来た時のあのうれしそうな笑顔、なんとも言えない感動を覚えました。とても名人とは言えない自分ですが、生徒たちの真剣さと笑顔に時間を忘れ、私自身、楽しいひとときとなりました。

自分にも中学生から３歳児までの５人の孫がいますが、孫たちと接するのとは違った楽しさを感じました。そして、自分自身が忘れかけていた、新しいことを覚えることに挑戦する気持ちを思い出させてもらい、活力をもらったひとときでした。

◇関係者からのコメント◇

「スキー学習」支援での感想

緑苑町内会会長　　大　東　英　雄

１年生の若葉公園での「スキー学習」のための、スキー靴を履く等の準備と、終わったあとの後片付けを３回にわたって支援しました。

１回目は、支援を要する児童（特にスキーで坂を上れない）が多数いて、時間がかかりましたが、２～３回目になると徐々に支援を要する児童が減って、また、目に見えて上達しているのには感心させられた。

スキー学習の終わった後、楽しかったかどうか聞くと、全員が楽しかったとの返事があり、上達が早い時機なので「スキー学習」以外にも練習の機会（家族や友達などと）があると良いと思った。

それから、今使っている用具は１～２年後には使用できなくなると思われ、何か有効利用できる方法はないのだろうかと思った。

「声かけ運動」を進めよう

北六条町内会　悠々クラブ会長　　髙　橋　龍　藏

「お早う！　気をつけて」。登校する児童に言葉をかけると、「は～い。行ってきます」と言葉が返ってきます。いつもの朝の風景です。

そして下校時には、「お帰り。お疲れさん」と声をかけると、「ありがとう。さようなら」と声が戻ります。最初、子供たちからの答えはありませんでしたが、今では大きな声が響きます。

長年勤めた民生・児童委員を定年退職のあと、交通安全街頭指導員として、登校・下校時に飛行機公園近くの交差点に立って児童を見守っていました。たまたま、小学生を持つ転勤族の娘一家が石狩市に新居を構えたのを機会に、学校支援活動の「声かけ運動」にも参加することにしたのです。

「声かけ運動」が終わって、児童会代表から、「声かけ運動の皆さん、暑い日も寒い日も笑顔で、お早う、さようならと声をかけて頂き凄く嬉しいです」と、感謝され感激しました。

あなたも「将来を担う子供を見守り育てる」ために、『おらが学校応援団』に参加しませんか。

■双葉小学校からのコメント（児童、先生）

九九名人　様

みんなに九九を教えてくれて　ありがとうございます。みんなはもう、九九をおぼえています。あと、タイムをはかってくれてありがとうございます。

みんなは今、１００マス計算にちょうせんしています。私は今、九九になれています。また、学校にタイムをはかりに来てください。

九九名人のみなさんへ

さいしょはきんちょうしていて、できないかと思ったけど、やったらできました。九九名人の

◇関係者からのコメント◇

みなさんとできてぼくはうれしかったです。でも、くだりはむずかしくて、ひとつずつやっていきました。ぜんぶできてうれしかったです。九九名人さんがいたから、一から九までできました。九九名人さんありがとうございました。

つけもの名人さんへ

この前は、つけものを教えてくれてありがとうございました。つけものをつくったとき、楽しくできて、そのつけものは、しょっぱかったけど、おいしかったです。また、学校にきて、わたしたちにつけものを教えてください。

スキーのお手つだいさんへ

スキーのお手つだいさん、スキーのときいつもありがとうございます。これからも、よろしくおねがいします。つぎのスキー学しゅうもよろしくおねがいします。ありがとうございました。

つぎの一年生のをがんばってください。今の一年生のも、つぎの二年生の分もがんばってください。つぎのスキー学しゅうよろしくおねがいします。

スキーぐつをつけてくれてありがとうございます。スキーのばんどをとってくれてありがとうございます。こんどは一人でやります。つぎは一人でがんばります。

声かけさんへ

いつも、さようならとか、お帰りなさいと言ってくれて、ありがとうございます。いつも、あいさつをするのは大へんですか？　私は、あいさつをしないひとみしりだったので、あいさつが出きませんでした。ゆうきを出して、こんにちは、と言ってみたらうれしかったです。６年間、中学・高校でも会うかもしれませんね。その時は、大きな声であいさつをしています。

わたしは、よくあいさつをしてもらったりして、ほんとは、あいさつは、きらいだったけど、おうえんだんのみなさんのおかげで、あいさつをすると、きもちいんだなぁということがわかりました。わたしもあいさつが言われたらわたしもちゃん言うようにしたいと思います。いつもありがとうございます。これからも、よろしくおねがいします。

「おらが学校応援団」の皆様

お忙しい中、子ども達のスキー学習のお手伝いをして頂き、ありがとうございました。皆さんが子ども達に接している時の話し方や笑顔が本当に優しくて、きっと、子ども達は地域の方が愛情を持って見守ってくれていることを感じたと思います。人の優しさや愛情をたくさん感じることで、子ども達の持つ「優しい心」も育っていくのではないかと思っています。

スキー学習のお手伝いと同時に皆さんの優しさに対しても心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

１学年担任　一同

◇花川南小の活動実施状況◇

	実施日	内容	指導者等		児童数	1年	2年	3年
1	7/22 (金)	オリエンテーション、絵本読み聞かせ	教育の日推進協議会、地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	3人	25人	15	10	0
2	7/25 (月)	紙芝居	教育の日、地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	4人	26人	15	11	0
3	8/26 (金)	ﾍﾟｰﾌﾟｻｰﾄ(人形紙芝居)、いろはｼﾞｬﾝﾎﾞｶﾙﾀ	地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教育の日	3人	51人	25	20	6
4	8/29 (月)	シャボン玉	地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教育の日	3人	56人	28	21	7
5	9/2 (金)	いろはｼﾞｬﾝﾎﾞｶﾙﾀ	地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教育の日	4人	68人	35	28	5
6	9/5 (月)	絵画 (将来の夢)	地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教育の日	4人	62人	33	26	3
7	9/12 (月)	絵日記	地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教育の日、町内会	4人	54人	32	19	3
8	9/16 (金)	バルーンアート	地域住民、教育の日	3人	69人	34	26	9
9	9/26 (月)	伝承遊び	伝承遊びﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、教育の日	5人	29人	18	9	2
10	9/30 (金)	伝承遊び	伝承遊びﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、教育の日	5人	41人	22	12	7
11	10/3 (月)	算数 (百ます計算)、ﾍﾟｰﾌﾟｻｰﾄ(人形紙芝居)	地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、町内会	2人	42人	31	11	0
12	10/7 (金)	シャボン玉	地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教育の日	2人	70人	40	21	9
13	10/17 (月)	ながなわ	体育協会、町内会、教育の日	7人	40人	20	19	1
14	10/24 (月)	手品教室	地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教育の日	2人	80人	46	30	4
15	10/28 (金)	工作、伝承遊び(竹とんぼ)	伝承遊びﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、教育の日	3人	76人	39	30	7
16	10/31(月)	工作 (紙風船)	伝承遊びﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教育の日	5人	59人	35	22	2
17	11/11 (金)	葉っぱで工作 (栞作り)	いしかり森林ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ「ｸﾏｹﾞﾗ」	9人	53人	25	24	4
18	11/14 (月)	フラ (ハワイのおどり)	ﾏｲﾚ本間ﾌﾗｻｰｸﾙ、地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、町内会	5人	25人	13	11	1
19	11/18 (金)	茶道	町内会、地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	8人	100人	44	39	17
20	11/25 (金)	アカペラ	ｱｶﾍﾟﾗｻｰｸﾙ「Quary」、町内会、教育の日、地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	10人	37人	18	17	2
				総計	1,063人	568	406	89
				平均	53人	28	20	4

※「教育の日推進協議会」は、退職教員で組織する市内の団体です。

合計　２０回　　支援ボランティア　延べ９１名

◇活動風景◇

8/26　いろはジャンボかるた

9/5　絵画（将来の夢）

9/30　伝承遊び

10/24　手品教室

10/28　工作（紙とんぼ）

11/14　フラ

11/18　茶道

11/25　アカペラ

◇関係者からのコメント（南小）◇

■花川南小学校「あい風寺子屋教室」関係者からのコメント

「花川南小学校区　学校支援地域本部　『あい風寺子屋』」

花川南小学校　PTA 会長　大西　孝則

花川南小学校区において平成２３年度７月より始まりました学校支援地域本部「あい風寺子屋教室」は、７月２２日より１１月２５日まで計２０回を数え、１年目を終えることが出来ました。

教育委員会社会教育課の皆様を始め、コーディネーター・「教育の日推進協議会」・地域町内会の皆様の指導の下、毎回楽しく内容充実を考慮していただき、児童たちも笑顔の満ちた「あい風寺子屋」事業でありました。

近年、各学校において児童数減少に伴い PTA 会員数も減少傾向の中、教職員の負担が増加しつつあります。これまで以上に学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供たちを育てていくため、地域の人々の知識・経験を子供たちへの経験・教育に生かすことにより教育発展の充実を図り、地域の皆様に子供たちと触れ合う事により新たな生きがいになるものではないかと取り組んでまいりました。

２年目といたしましては、１年目の反省も含め PTA 会員の皆様にアンケートを取り、次年度における事業内容に反映させるべく活動しております。学校はもとより地域の皆様にはご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げ、２年目も本事業に取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

「現代の寺子屋」

石狩市退職校長会　事務局長　有坂　勝彦

花川南小学校のプレイルームに、授業を終えた１～３年生が我先にとランドセルを背負って駆けつけてくる。どの子も「今日はどんなことをするのかな」と期待でいっぱいである。沖田先生の指示で、集まった４０名の子どもたちが集中する。『いろはかるた』は、回を重ねるごとに大きな声で発表できるようになった。『干支』の暗誦も淀みなく言えるようになった。

これまで、「かるた遊び」「手品」「バルーン」「お茶」「コーラス」「長縄跳び」など楽しい体験をすることができた。１時間程度の体験を終えた子どもたちは、皆、満足そうな顔つきで「さようなら」と家路につく。

「寺子屋」と聞くと、なんだか懐かしい響きを覚える。寺子屋には、中世の寺院から始まったと聞く。江戸時代には都市から農漁村にも広がりをみせ、幕末には全国に１６，５６０軒の寺子屋があったと言われている。

民間の寺子屋の教育は「読み書き算盤」と呼ばれる基礎的な読み方・習字・算数の習得に始まり、さらに、地理・人名・書簡の作法など実生活に必要とされる知識や技術の教育が行われたという。今の塾と違って当時の寺子屋の師は、往々にして一生の師である例も多かったらしい。

現代の「寺子屋」の存在価値はどのようなものか、知恵を集め前進させてほしい。

◇関係者からのコメント（南小）◇

「あい風寺子屋」教室に参加して

栄町内会会長代行　佐藤　テイ子

教育委員会の青山主事より、寺子屋教室で「茶道教室」を開催してほしいとの依頼を受けました。

以前、寺子屋教室に参加・見学させて貰った経験があり、子供達の元気いっぱい・腕白いっぱい・活発この上なしの、あのざわめきの様子を見てきていました。さて、その子供達に、茶道の何かを分からせ、茶道の静かな静かな雰囲気に浸らせることが出来るものか、これは至難の業だと思いました。

当日、面白くもない難しいと思われるお茶の伝来や由来・歴史を話し、家元の説明もしましたが、子供達は静かに、興味深げに聞いてくれました。

寺田ふさえ先生に、お茶をいただく前のお点前を披露していただきましたが、身を乗り出して真剣に注視してくれる子供達の姿勢に、当初の懸念や心配は吹き飛んでしまいました。

いよいよ、実際にお茶とお菓子を頂くことになり、１００名を超える人数ですので、湯呑茶碗で差し出すほかありません。お菓子（もろこし）を食べながら、女の子同士、こっそり「おいしい」と話している声が聞こえました。色取りを見つめて味わっている笑顔も印象的でした。お茶は、苦い・おいしい・飲みやすいとさまざまでした。お点前よろしく、茶碗を半回転させて飲む子もいました。

僅かながらのお茶とお菓子でしたが、子供達は子供達なりに、静かな茶道を楽しんでくれたと思います。貴重な体験でもあったと思います。こちらが面食らう位のとても良い茶道教室だったと考えます。

なお、最後に、教育委員会の皆様、栄町内会７名の皆様のご協力により、大任を果たす事が出来たことに感謝し、お礼申し上げます。

「花川南小学校　寺子屋に参加して」

伝承遊びボランティアおてだま　代表　武川　明子

私たちは「伝承遊び」で４回の事業に参加させていただきました。前半の２回はおてだま、おはじき、こま、けん玉など各種遊び道具を使っての遊び、後半の２回はリサイクルで遊び道具を作って遊びました。

毎回、多くの子どもの参加があり、遊びを楽しんでいる様子がうかがえてよかったです。

伝承遊びは若い父兄には遊び方まで知られていないため、家庭に道具の用意がありません。したがって子どもたちはこのような遊びのあることを知りません。

私達は忘れられてゆく日本の伝統文化である遊びを現代の子どもたちに伝えたいと活動しています。

伝承遊びには、子どもの身体的、精神的な発達に必要な事が多く含まれています。遊びを通して学ぶことで、立派な人間に育てられると思うのです。

子どもたちに伝承遊びの楽しさを知ってもらい、興味を持って取り組んでほしいと願っています。寺子屋に参加してくれた子どものたくさんの笑顔にあえて嬉しかったです。

◇会議等の開催及び研修会等への参加状況◇

月　日	内　容	備　考
H２３		
７.２７	■第1 回運営委員会開催 ・組織体制 ・実施計画 ・予算について	公民館第一研修室
８.１９	■第1 回花川南小学校区学校支援地域本部会議開催 ・役員選出 ・事業実施について ・予算について	花川南小学校
１０.２１	■「第2 回学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業研修会」出席 ・他市町村の事業の事例発表、情報交流 ・学習、情操活動プログラム等の受講	札幌市（北海きたえーる） ２名出席
１０.２８	■第２回花川南小学校区学校支援地域本部会議開催 ・事業中間報告 ・今後の予定について	花川南小学校
１２.２１	■第３回花川南小学校区学校支援地域本部会議開催 ・事業報告 ・アンケート結果 ・成果と課題	花川南コミュニティセンター
H２４		
１.２５	■第２回運営委員会開催 ・事業中間報告 ・北地区学校支援地域本部について ・今後の事業実施予定について	公民館第一研修室
３.３０	■平成２３年度事業報告書作成	

◇ 成　果　と　課　題 ◇

石狩市学校支援地域本部事業は4年目が終わり、地域の皆様のご協力を得ながら、様々な取り組みを行うことができました。活動を通して見えてきた「成果と課題」についてまとめました。

（１）児童・生徒への影響

特に小学校からのニーズが多く、多彩な活動を実践しています。児童からのお礼の手紙や感謝の気持ちも寄せられており、学校も地域の方々の来校を歓迎してくれている模様です。中学校では、地域の方と一緒に汗を流す生徒たちの姿を新鮮な目で見ていただいており、効果的な相互教育作用として働いているものと考えられます。

大人である地域の方々と触れ合うことで、規範意識やコミュニケーション能力の向上に一層つなげていきます。

（２）学校に対する効果

授業支援の補助をしていただくことのほかに、環境整備や安全見守りなどこれまで教職員が行っていたことの一部を学校支援ボランティアが担うことによって、教職員の負担が減り、授業準備や生徒指導にあてる時間の多少の余裕が生まれたものと考えています。この事業の効用を以前に実感した担任の先生は、今年度も積極的に要望されていました。今後もより多くの先生方に意義や趣旨を理解していただくためにも積極的に周知していくほか、校内での働きかけも期待したいところです。

（３）学校支援ボランティアにとっての意味

学校支援ボランティアの率直な感想として、実際の学校生活の一端を肌身で実感し、自分達の技術や経験、支援活動が好意的に受け止められていることに満足感やり甲斐を感じていらっしゃることが伺えます。

一方で、町内会経由で推薦された方の中には、当本部からの説明が不十分のため、趣旨や意義の理解が得られない中でボランティア活動に参加されたケースも何件かありました。次年度以降、新たな地域の方々に向けては、何度か機会をみて、事業内容等を浸透させていく活動が必要であると感じています。

（４）地域教育力の再発見

地域住民の中でも特に蓄積された知識や技能を持った高齢者の方の人材活用は、新しい学校像として以前から期待されていたことであり、当本部としても実証済みであります。今後は並行して保護者や学生といった方々の力も可能な限り活用していく必要があると考えています。

（５）モデル校以外の校区への展開

事業を効率的に展開させ、学校のニーズを的確に把握していくためには、地域コーディネーターの果たす役割が大きいと言えます。今後、花川北・南地区へと拡大させていくためには、複数のコーディネーターの配置が必須となり、人材の育成・発掘が急務です。

◇ 学 校 関 係 者 か ら ◇

「輝く目、笑顔が一杯」

花川南小学校　校長　似内　博之

本校で実施していただいている「あい風寺子屋」事業の一年間を振り返りますと、いつも子ども達の輝く目と笑顔が真っ先に思い浮かびます。やんちゃで、黙ってお話を聞くことのできなかった子ども達も、回を重ねる毎に、ボランティアの先生方の指示に素早く対応できるまで成長しました。

クラスのお友達や、学年を越えた「南小の子ども達」が、一つの輪になって、楽しい時間を共有できる素晴らしさは、普段の授業では実現できない貴重な体験です。見聞きして得る智より、実際に体験して得られる智は、きっと子ども達の内面に何倍、何十倍にもなって蓄積されることでしょう。

当初の予定より期間を延長して実施していただいたり、準備が大変にもかかわらず、子ども達のために一生懸命尽力していただいたボランティアの方々には、本当に感謝の気持ちで一杯です。

今後とも子ども達のためにご支援・ご協力をお願いしますとともに、子ども達の成長を見守っていただければ幸いです。

「地域の方々、本当にお世話になりました」

双葉小学校　教頭　北野　敬和

この１年間、地域の方々には本当にお世話になりました。４月に赴任してから「おらが学校応援団」の方々が、本当に温かく学校を支援していただく場面を見せていただきました。私も、過去に僻地校を何度か経験しましたが、いずれも地域の中での学校の存在は大きく、学校と地域が一体となって取り組む行事などもたくさんありました。ともすれば他者との関わりが疎遠で希薄になりがちな団地の中にある本校ですが、その時と同じように、地域の方々から学校への熱い思いやメッセージを感じることができました。

今年も「九九検定」「スキー授業の補助」など、参加して下さった皆様と子どもたちとの交流場面をたくさんの記録写真として撮らせていただきました。ファインダー越しに見えたのは、優しい笑顔で子どもたちと触れ合う、ほのぼのとした雰囲気の場面でした。双葉小に関わって下さっている地域の皆様が、子どもたちに向ける温かい眼差しや優しい言葉かけの中には、いつも「健やかに伸び伸び育て」というメッセージが強く感じられます。

今年は「１年生・下校時の交通安全指導」「２年生・生活科への支援　漬け物作り」など新たな取り組みにもご支援をいただきました。今後も他校の取り組みを参考にしながら、新たな分野での取り組みなども検討していきたいと思います。本事業に関わっていただいた多くの方々にこの場を借りて改めて感謝とお礼を申し上げます。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

地域コーディネーター　顛末記

地域コーディネーター　　沖　田　　勇

文部科学省からの３年間の委託事業としてスタートした本事業も、今年度は、花川南地区の**花川南小学校**に拡大しての継続の事業として**４年目**に入りました。

対象の４校よりのボランティア要請事項には、以前からの個人登録されている支援者の皆さんや、校区内の関係町内会を経由して推薦されたボランティア支援者の皆さんのご協力により、ほぼ１００％に近い数字でニーズにお応え出来たと考えます。

要請された支援内容では、**「スキー学習の補助」「図書整理」「グランド除草の作業」「卒業証書の代筆」**等は、本部開設以来、学校側としても期待度が高く毎年継続してきたものであり、**「九九の検定」「ミシン授業の補助」**等は、実施してみて子ども達にとって学習効果がより上がったと確認された実践だったと思われます。

今年度初めての**「漬物の学習」**や**《あいかぜ寺子屋》での「講座」**は、学校現場からは期待薄の、特異な技能や経験を有する方を講師で展開できた実践であり、今後、こうした事例の拡がりを期待したいと思います。

今回、地域コーディネーターとして感謝致したい事例は、対象の両小学校から、同日・同時間帯に支援事項が数回重なりあった時がありました。不在時に私からの（直接指示）無でも、以前の取り組み経験から**自主的に活動**に入ってくださったことで、ボランティアさんのご理解に頭の下がる思いもありました。

そんなこんなで、校下地域の**町内会会長さんのご協力**や、年々、数名の**個人登録のボランティアさんも**増えてきました。地域コーディネーターとしてよりも、個人的に親しくお付き合いをさせていただける間柄となった方もあり、このお仕事の携わったお蔭と喜んでおります。

ボランティア活動が終了した後や休憩時には、**「おらが学校応援団控え室」**で雑談を交わしたり、「頭の体操」に興じたりもしました。そこでは、学校側の好意による湯茶や茶菓子等の心づかいもしていただきました。

次年度も、学校側からの多くのニーズによって、地域の経験豊かな人材の活用と子ども達の意欲的な学びの力を伸ばす体験が積み重ねられることを期待しております。

平成２３年度　石狩市学校支援地域本部　運営委員会名簿

№	氏　　名	所属（役職）	役員
1	徳田　昌生	石狩市社会教育委員会の会議の委員長	委員長
2	澤田　尚樹	石狩市ＰＴＡ連合会会長（花川小学校）	
3	竹口　　尊	石狩市花川北連合町内会　会長	
4	松下　芳嗣	石狩市花川南連合町内会　会長	
5	工藤　正義	石狩市校長会　会長（緑苑台小学校）	
6	東　　信也	教育委員会社会教育課長	事務局長

■石狩市学校支援地域本部事務局
石狩市教育委員会社会教育課（石狩市公民館内）
電話 0133-72-3173　　FAX0133-74-2249